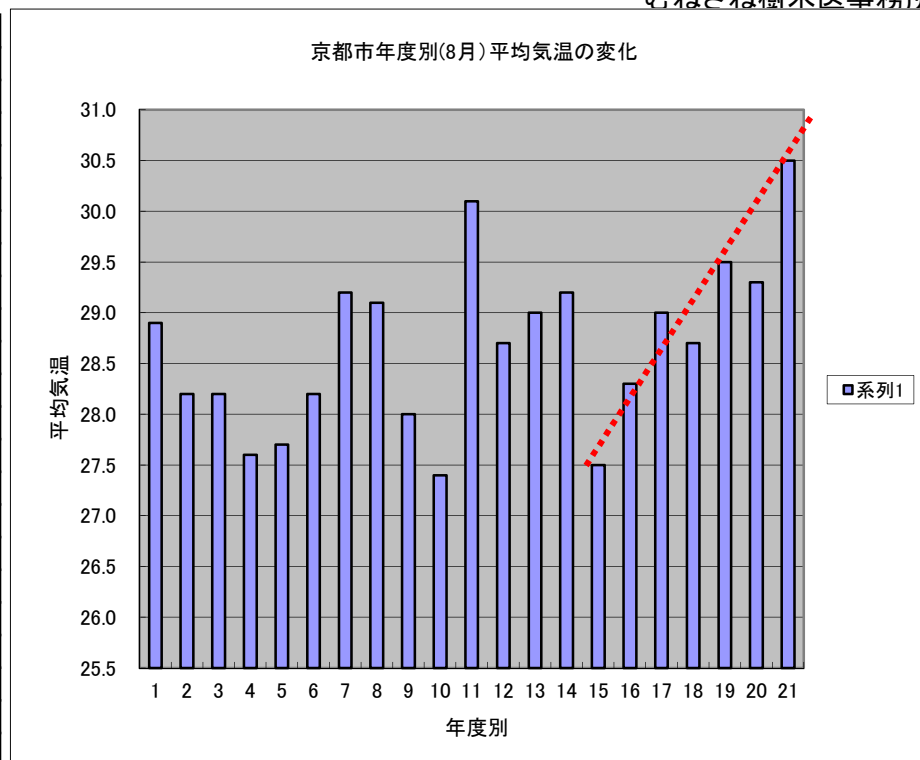


No.	年度	平均気温
1	2000	28.9
2	2001	28.2
3	2002	28.2
4	2003	27.6
5	2004	27.7
6	2005	28.2
7	2006	29.2
8	2007	29.1
9	2008	28.0
10	2009	27.4
11	2010	30.1
12	2011	28.7
13	2012	29.0
14	2013	29.2
15	2014	27.5
16	2015	28.3
17	2016	29.0
18	2017	28.7
19	2018	29.5
20	2019	29.3
21	2020	30.5



その他の項目の変化

赤い数字は20年間での最高値

年度	8月			
	降水量	平均気温	最高気温	日照時間
2020	45.5	30.5	38.8	236.6
2019	355.0	29.3	38.6	181.9
2018	112.5	29.5	39.5	199.9
2017	129.5	28.7	36.7	162.2
2016	148.5	29.0	37.9	226.9
2015	241.5	28.3	39.1	175.7
2014	487.0	27.5	36.2	96.1
2013	102.0	29.2	39.0	210.2
2012	112.0	29.0	37.1	202.3
2011	62.0	28.7	36.9	172.4
2010	175.0	30.1	37.5	189.7
2009	106.5	27.4	36.5	159.5
2008	87.5	28.0	37.0	161.9
2007	119.0	29.1	38.6	207.2
2006	84.0	29.2	38.0	210.0
2005	102.0	28.2	36.9	160.1
2004	249.5	27.7	35.5	155.5
2003	298.5	27.6	36.0	146.3
2002	66.5	28.2	36.4	180.7
2001	99.5	28.2	38.2	75.6
2000	78.0	28.9	37.1	277.6
1990	58.5	29.0	37.7	211.4
1980	303.5	25.5	33.9	92.2

これらの状況から2020年8月は樹木にとって、降水量は例年より異常に少なく、平均気温も過去最高で、日照時間も長く、悪い要素が3つ揃う過酷な年であり、特に衰退した樹木は葉からの蒸散量を調整するために枝葉を枯らし、自己防衛したと思われます。又、過去にさかのぼると、平均気温も近年上昇傾向にあり、ポデーブローの様に樹勢に影響を与えており、過去から踏襲されてきた管理方法や灌水タイミング等を見直す時期が到来したのかもしれない。

(平均気温の上昇により、稲などは、主産地が北上しており、高温障害を避けるため品種改良や田植えの時期を1ヶ月遅らせたり、他の植物などにも大きな影響が出ています)